

Form 5

2011(平成23)年6月11日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 筑波大学附属駒場高等学校 副校長 宮崎 章
2. 参加研究者: Dr. Seung-Hoon Heo
3. 実施日時: 2011(平成23)年6月11日(土) 10:30 ~ 12:20
4. 参加生徒: 高校2年生 29人、__年生 __人、__年生 __人(合計 29人)
備考: 高校2年ゼミナール「Science Dialogue」を選択した生徒(欠席の生徒2名がいた)
担当教員2名の他に、興味をもった教員1名も参加
5. 講演題目: (英文) Facing Cultural & Ethnic Diversity: The Life of a Researcher in International Relations
(和文) 国際関係と文化的民族的多様性
6. 講演概要:
PPT を使って、スイスで育ち、一旦韓国に戻った後、パリでユネスコの仕事、ジュネーブで国際関係の PhD、その後アメリカで研究、そして日本へというご自身の多彩な経歴を詳しく紹介してもらった。それから、専門の国際関係論における研究について、特に「recconciliation」「fraternity」について、そして研究者のあり方に話してもらった。非常に流暢な英語で、難しい単語などについていけなくなった生徒も一部いたようであるが、英語が得意な生徒は流れるような話に興味をもって聞いていた。その後、生徒からの英語での質問にいろいろと答えてもらった。
7. 使用言語: 英語
8. 講演形式:
 - (1) 講演時間 65 分 質疑応答時間 30 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
パワーポイントを使った講演
 - (3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
サポートで小西英之氏に来ていただいたが、すべて英語で行っていただいた
協力者 職・氏名
国際連合大学プロジェクト・アシスタント 小西英之氏
- (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講演者の希望で Questionnaire を事前配付し、生徒が記入後、講師に郵送し、講演の中で随時参照された。
9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金 各 2,000 円
10. その他特筆すべき事項: